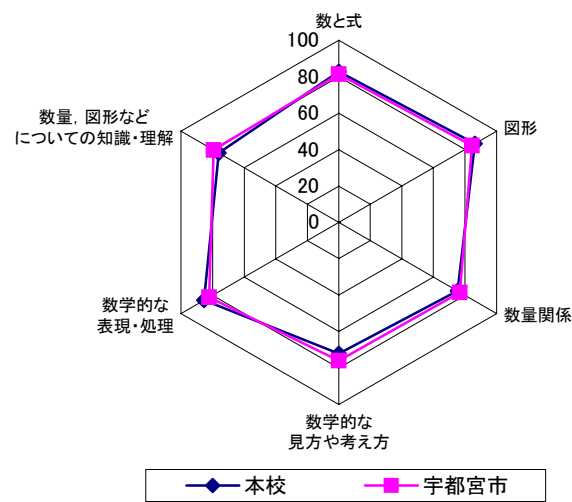


宇都宮市立上河内中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	82.8	81.5
	図形	86.3	84.3
	数量関係	75.3	76.8
観点別	数学的な見方や考え方	72.0	76.0
	数学的な表現・処理	85.3	82.3
	数量、図形などについての知識・理解	76.2	79.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (82.8%)	・市と比較して1.3ポイント上回っている。展開・因数分解や2次方程式の計算については市を大きく上回っているが、平方根の計算に課題がある。 ・2次方程式の利用で、数学的な見方や考え方を必要とする問題は、市と比較して7.6ポイント下回っており、昨年同様、こういうタイプの問題解決に課題がある。	・今年度も継続して、計算問題に取り組ませる時間を多くもち、習熟を図ってきた。数の性質を文字を用いて説明する問題等の数学的な見方や考え方を必要とする問題に力を入れてきたが、結果は思うようではなかった。声を出して読むことを大切にしてきたが、今後も読解力をつけることに力を入れていきたい。
図形 (86.3%)	・市と比較して2ポイント上回っている。どの問題も正答率は8割を超えており、高いと言える。円周角の定理を用いて角度を求める問題は市と比較して8.1ポイント上回っており、表現・処理の力は高いと言える。	・基本的なことは理解できている生徒が多いので、さらにそれをもとに証明の力を高めるような指導をしてきた。理解が不十分な生徒に対しては、角度を求める問題などを、定理を意識しながら解くことや、教え合い学習で切磋琢磨することを大切にしてきた。今後もこのことに力を入れていきたい。
数量関係 (75.3%)	・市と比較して1.3ポイント下回っている。2次関数の意味やグラフをとらえることは身につけている生徒が多いが、関数の変域の意味や変化の割合についての知識・理解は不十分であった。	・変数の間の関係を表・式・グラフに表したり、把握したりすることに力を注いでいきたい。数学的な見方や考え方が弱いので、具体的な場面で考えさせる問題に対して、量的にも質的にも力を入れていきたい。